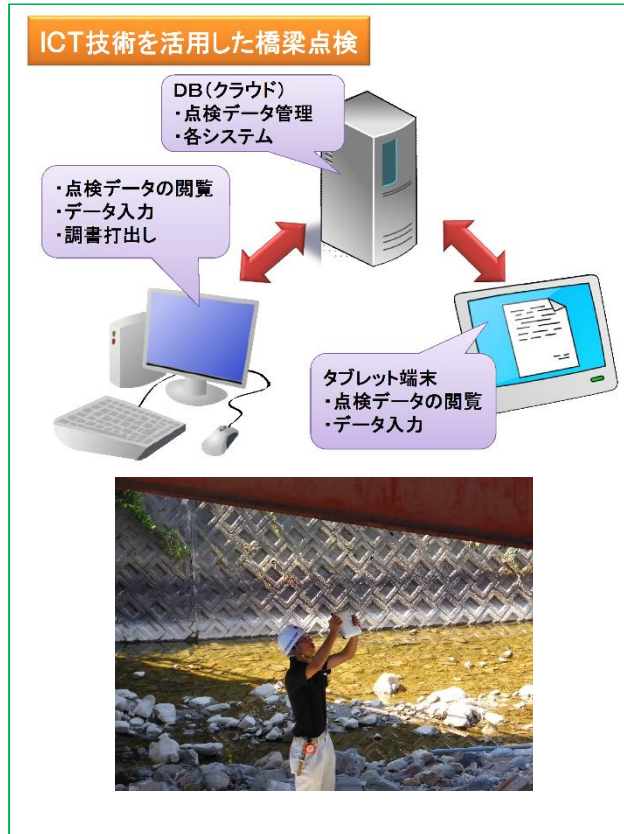


【＜ICT技術を活用した橋梁点検＞のイメージ】

- 上山市は、平成26年3月に「東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター」と協定を締結し、ICTを活用した橋梁点検の業務効率化の検証を行った。
- 現在、上山市の管理橋梁は176橋あり、そのうち約2割にあたる34橋が建設後50年以上経過している老朽化した橋梁である。今後、老朽化した橋梁の割合は増加するため、適切な維持管理の実施が課題であった。
- そのため、容易に損傷写真を撮影できる機能を有したタブレット端末を試験的に導入し、前回の点検で撮影した画像の参照や損傷の経年変化を簡易に把握するためのデータの蓄積及び今後の補修への活用について検証を行った。
- 検証の結果、概ね期待された効果が得られたが、端末操作や損傷個所の把握などに課題が見つかった。今後、センターと協力して、課題解消を目指していく。将来的に点検や診断の費用を抑制しながら補修を実施し、管理橋梁の安全を確保していくことを目標としている。



(資料提供: 東北大学大学院インフラマネジメント研究センター)